



平成 29 年 4 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 昂
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 村 道 子
(コード番号 9778)
問 合 せ 先 経 理 担 当 部 長 岩 下 敏 明
電 話 099-227-9505

固定資産の減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月期決算において、下記のとおり特別損失として固定資産の減損損失を計上する見込みとなりました。これに伴い、平成 28 年 10 月 6 日に修正公表しました平成 29 年 2 月期（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として教室を基本単位とし、また遊休資産等については物件単位毎にグルーピングしております。

このたび、将来キャッシュ・フローの見積りにおいて、一部の教室において地価の下落及び生徒数が前年を下回ったことにより営業活動による損益が継続してマイナスとなる見込みとなったことにより土地・建物等について、85百万円の減損損失を特別損失として計上する見込みであります。

2. 業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	3,457	217	245	87	14.74
今回修正予想 (B)	3,446	240	269	30	5.18
増減額 (B-A)	△11	23	23	△56	
増減率 (%)	△0.3	11.0	9.6	△64.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	3,515	307	336	155	26.32

3. 修正の理由

売上高におきましては、高等部の新規入学者数が予想数値に未達となったことにより、11百万円減の3,446百万円となる見込みとなりました。

営業利益におきましては、広告宣伝費等の経費削減により、23百万円増の240百万円となる見込みとなりました。

経常利益におきましては、同様の理由により23百万円増の269百万円となる見込みとなりました。

また、前述のとおり固定資産の減損に伴う特別損失85百万円を計上するため、当期純利益は前回予想から56百万円減の30百万円となる見込みであります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上